

平成22年度  
第6回市政モニターアンケート  
地産地消についての意識調査

北九州市総務市民局広聴課

## 目 次

調査の概要	1
市政モニターの構成	1
調査結果	2
(1) 生鮮食料品の主な購入先	2
(2) よく見かける市内産農林水産物の販売場所	4
(3) 農林水産物を購入する際の基準	5
(4) 農林水産物を購入する際に「産地」を基準とする理由	7
(5) 「産地」を選ぶ時の範囲	8
(6) 農林水産物を購入する際に「有機農産物」を基準とする理由	9
(7) 市内産農林水産物に対する感想	10
(7) よく購入する市内産農林水産物	11
(8) 市内産農林水産物の販売コーナー設置について	13
(9) 市内産農林水産物の販売推進に効果的だと思うこと	14
(10) 「地産地消」についての認知度	15
(11) 地産地消の推進により期待されること	16
(12) キャッチフレーズ「地元いちばん」の認知度	17
(13) 地産地消サポーター制度の認知度	18
(14) 地産地消サポーター制度を知るきっかけ	19
(15) 「地元いちばん」の幟(のぼり)を見た経験	20
(16) 「北九州カニ・カキロード」の認知度	
「北九州カニ・カキロード」の看板を見た経験	21
(18) 過去一年間の「ワタリガニ(豊前本ガニ)」購入の有無について	23
(19) 「ワタリガニ(豊前本ガニ)」の購入先	24
(20) 「ワタリガニ(豊前本ガニ)」を購入したことがない理由	25
(21) 今後の地産地消の推進に対する要望	26
(22) 本市の農林水産業に対する意見	28
全体考察	29

## I 調査の概要

調査対象者	市政モニター 150人		
回答者数	141人(回収率 94.0%)		
調査実施日	平成22年10月27日~平成22年11月10日		
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査		
調査実施課	総務市民局広聴課	582-2527	
調査依頼課	産業経済局地産地消推進課	582-2080	

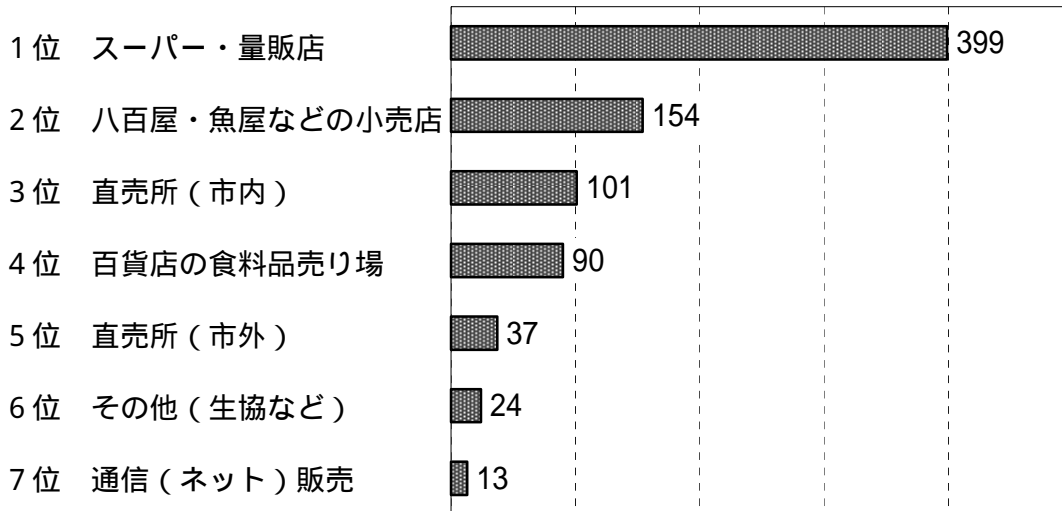
## II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	50 (33.3%)	100 (66.7%)	区 別			
				門司区	16 (10.7%)	4 (2.7%)	12 (8.0%)
20歳代	22 (14.7%)	6 (4.0%)	16 (10.7%)	小倉北区	27 (18.0%)	6 (4.0%)	21 (14.0%)
30歳代	34 (22.7%)	8 (5.3%)	26 (17.3%)	小倉南区	33 (22.0%)	14 (9.3%)	19 (12.7%)
40歳代	27 (18.0%)	7 (4.7%)	20 (13.3%)	若松区	13 (8.7%)	2 (1.3%)	11 (7.3%)
50歳代	26 (17.3%)	6 (4.0%)	20 (13.3%)	八幡東区	13 (8.7%)	7 (4.7%)	6 (4.0%)
60歳代	26 (17.3%)	12 (8.0%)	14 (9.3%)	八幡西区	33 (22.0%)	15 (10.0%)	18 (12.0%)
70歳以上	15 (10.0%)	11 (7.3%)	4 (2.7%)	戸畑区	15 (10.0%)	2 (1.3%)	13 (8.7%)

数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

問1 ご家庭で生鮮食料品を購入する場合、主にどのようなところで買い物をしていますか。選択肢の中から買い物に行く場所を、よく利用する順に3つまで選んでください。



順位	調査項目	スコア(得点数)
1位	スーパー・量販店	399
2位	八百屋・魚屋などの小売店	154
3位	直売所(市内)	101
4位	百貨店の食料品売り場	90
5位	直売所(市外)	37
6位	その他(生協など)	24
7位	通信(ネット)販売	13

\*スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。

「スーパー・量販店」が1位で2位の「八百屋・魚屋などの小売店」に2倍以上のスコア差を付けた。

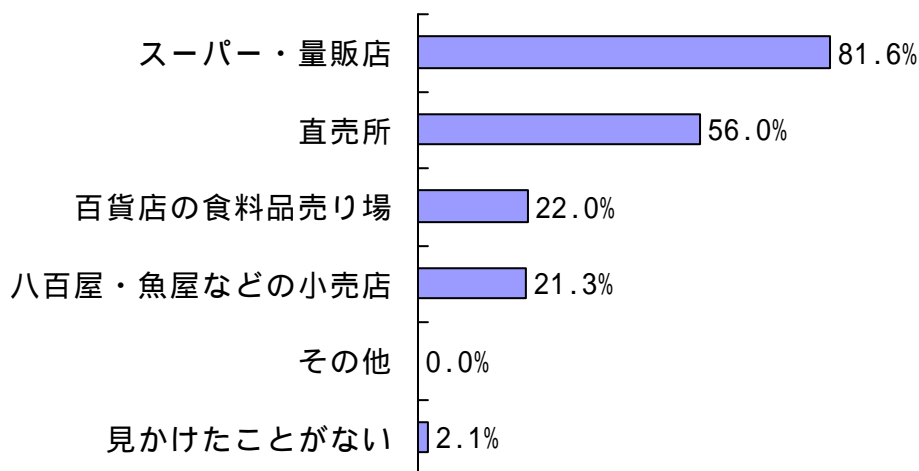
問1クロス集計表

〔 数値は 上段：スコア（得点数）  
下段：平均スコア 〕

区	分	回答者数	生鮮食料品の購入先（よく利用する順に3つまで）						
			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
全	体	141	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市外)	その他(生協 など)	通信(ネット) 販売
			399 2.830	154 1.092	101 0.716	90 0.638	37 0.262	24 0.170	13 0.092
性	別	47	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市外)	その他(生協など)	通信(ネット) 販売
			133 2.830	55 1.170	34 0.723	25 0.532	19 0.404	6 0.128	3 0.064
性	別	94	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市外)	その他(生協など)	通信(ネット) 販売
			266 2.830	99 1.053	67 0.713	65 0.691	18 0.191	18 0.191	10 0.106
年	別	20歳代	スーパー・ 量販店	百貨店の食料 品売り場	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	その他 (生協など)	直売所 (市外)	通信(ネット) 販売
			52 2.889	20 1.111	15 0.833	7 0.389	4 0.222	2 0.111	2 0.111
		30歳代	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市内)	その他 (生協など)	直売所 (市外)	通信(ネット) 販売
			81 2.700	35 1.167	24 0.800	13 0.433	9 0.300	5 0.167	4 0.133
		40歳代	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市外)	通信(ネット) 販売	
			76 2.923	30 1.154	20 0.769	16 0.615	7 0.269	3 0.115	
		50歳代	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市外)	その他 (生協など)	通信(ネット) 販売
77 2.962	28 1.077		23 0.885	12 0.462	7 0.269	3 0.115	1 0.038		
60歳代	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	直売所 (市外)	百貨店の食料 品売り場	その他 (生協など)			
	71 2.731	29 1.115	20 0.769	14 0.538	11 0.423	8 0.308			
70歳以上	スーパー・ 量販店	直売所 (市内)	八百屋・魚屋 などの小売店	百貨店の食料 品売り場	通信(ネット) 販売	直売所 (市外)			
		42 2.800	18 1.200	17 1.133	7 0.467	3 0.200	2 0.133		
区	別	門司区	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市内)	通信(ネット) 販売	直売所 (市外)	その他 (生協など)
			46 2.875	19 1.188	13 0.813	7 0.438	5 0.313	3 0.188	2 0.125
		小倉北区	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市内)	直売所 (市外)	その他 (生協など)	通信(ネット) 販売
			71 2.840	28 1.120	22 0.880	10 0.400	8 0.320	3 0.120	2 0.080
		小倉南区	スーパー・ 量販店	直売所 (市内)	八百屋・魚屋 などの小売店	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市外)	その他 (生協など)	
			85 2.833	37 1.233	28 0.933	12 0.400	7 0.233	5 0.167	
		若松区	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市外)	その他 (生協など)	通信(ネット) 販売
			32 2.909	9 0.818	9 0.818	6 0.545	5 0.455	4 0.364	1 0.091
		八幡東区	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市内)	直売所 (市外)	その他 (生協など)	
			37 2.846	20 1.538	8 0.615	6 0.462	3 0.231	3 0.231	
八幡西区	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	百貨店の食料 品売り場	直売所 (市内)	直売所 (市外)	通信(ネット) 販売	その他 (生協など)		
	92 2.875	34 1.063	22 0.688	21 0.656	10 0.313	3 0.094	1 0.031		
戸畑区	スーパー・ 量販店	八百屋・魚屋 などの小売店	直売所 (市内)	百貨店の食料 品売り場	その他 (生協など)	通信(ネット) 販売	直売所 (市外)		
	36 2.571	16 1.143	11 0.786	7 0.500	6 0.429	2 0.143	1 0.071		

\*スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。  
\*平均スコアとはスコアを回答者数で割ったもの。小数点以下4位を四捨五入。  
(年齢別、地区別などの比較は、それぞれ回答者数が異なり、スコアだけでは判断できないため)

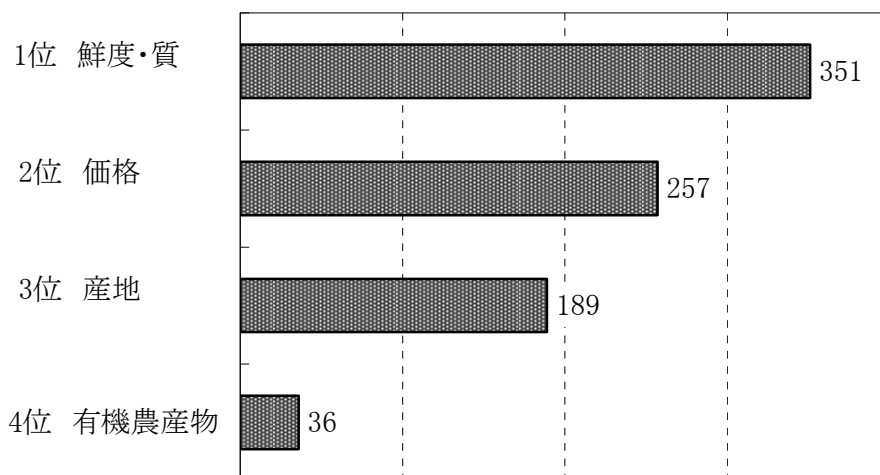
問2 市内産農林水産物の販売を主に何処で見かけますか。選択肢の中からよく見かける場所を2つまで選んで下さい。



		回答者数	スーパー・量販店	直売所	百貨店の食料品売り場	八百屋・魚屋などの小売店	その他	見かけたことがない
全体		141人	81.6%	56.0%	22.0%	21.3%	0.0%	2.1%
性別	男性	47人	76.6%	57.4%	19.1%	21.3%	0.0%	2.1%
	女性	94人	84.0%	55.3%	23.4%	21.3%	0.0%	2.1%
年齢別	20歳代	18人	66.7%	50.0%	27.8%	22.2%	0.0%	11.1%
	30歳代	30人	80.0%	53.3%	23.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	40歳代	26人	92.3%	65.4%	11.5%	7.7%	0.0%	0.0%
	50歳代	26人	84.6%	57.7%	19.2%	23.1%	0.0%	0.0%
	60歳代	26人	80.8%	50.0%	30.8%	19.2%	0.0%	3.8%
	70歳以上	15人	80.0%	60.0%	20.0%	33.3%	0.0%	0.0%
区別	門司区	16人	87.5%	43.8%	31.3%	25.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	25人	72.0%	36.0%	36.0%	32.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30人	73.3%	80.0%	13.3%	23.3%	0.0%	0.0%
	若松区	11人	90.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	13人	84.6%	23.1%	38.5%	30.8%	0.0%	7.7%
	八幡西区	32人	84.4%	59.4%	18.8%	12.5%	0.0%	3.1%
	戸畑区	14人	92.9%	42.9%	14.3%	21.4%	0.0%	7.1%

市内産農林水産物を見かける主要なものは「スーパー・量販店」「直売所」が主であった。問1(購入先)で2位であった「八百屋・魚屋などの小売店」は4位(21.3%)であった。昨年度の調査と比較すると「見かけたことがない」は3.9% 2.1%に低下した。

問3 農林水産物の購入についてお聞きします。買い物をするとき、どんなことを基準に品物を選びますか。選択肢の中から、主なものから順番に3つまで選んでください。



順位	調査項目	スコア(得点数)
1位	鮮度・質	351
2位	価格	257
3位	産地	189
4位	有機農産物	36

\* スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。

農林水産物の購入動機は1位「鮮度・質」、2位「価格」、3位「産地」であった。  
「20歳代」で「価格」と「鮮度・質」が逆転した以外、全ての階層で同じ結果となった。

問3クロス集計表

〔 数値は 上段：スコア（得点数）  
下段：平均スコア 〕

区 分	回答者数	買い物をするとき、品物を選ぶ基準（主なものを順番に3つまで）				
		1位	2位	3位	4位	
全 体	141	鮮度・質 351 2.489	価格 257 1.823	産地 189 1.340	有機農産物 36 0.255	
性 別	男 性	47	鮮度・質 117 2.489	価格 98 2.085	産地 55 1.170	有機農産物 11 0.234
	女 性	94	鮮度・質 234 2.489	価格 159 1.691	産地 134 1.426	有機農産物 25 0.266
年 齢 別	2 0 歳 代	18	鮮度・質 41 2.278	価格 38 2.111	産地 25 1.389	有機農産物 3 0.167
	3 0 歳 代	30	鮮度・質 76 2.533	価格 54 1.800	産地 39 1.300	有機農産物 11 0.367
	4 0 歳 代	26	鮮度・質 65 2.500	価格 51 1.962	産地 36 1.385	有機農産物 4 0.154
	5 0 歳 代	26	鮮度・質 72 2.769	価格 43 1.654	産地 34 1.308	有機農産物 4 0.154
	6 0 歳 代	26	鮮度・質 61 2.346	価格 44 1.692	産地 33 1.269	有機農産物 9 0.346
	7 0 歳 以上	15	鮮度・質 39 2.600	価格 24 1.600	産地 22 1.467	有機農産物 5 0.333
	区 別	門 司 区	16	鮮度・質 44 2.750	価格 25 1.563	産地 24 1.500
小 倉 北 区		25	鮮度・質 61 2.440	価格 50 2.000	産地 31 1.240	有機農産物 8 0.320
小 倉 南 区		30	鮮度・質 78 2.600	価格 59 1.967	産地 38 1.267	有機農産物 5 0.167
若 松 区		11	鮮度・質 27 2.455	価格 17 1.545	産地 16 1.455	有機農産物 6 0.545
八 幡 東 区		13	鮮度・質 31 2.385	価格 23 1.769	産地 22 1.692	有機農産物 2 0.154
八 幡 西 区		32	鮮度・質 81 2.531	価格 63 1.969	産地 38 1.188	有機農産物 9 0.281
戸 畑 区		14	鮮度・質 29 2.071	価格 20 1.429	産地 20 1.429	有機農産物 3 0.214

\* スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。

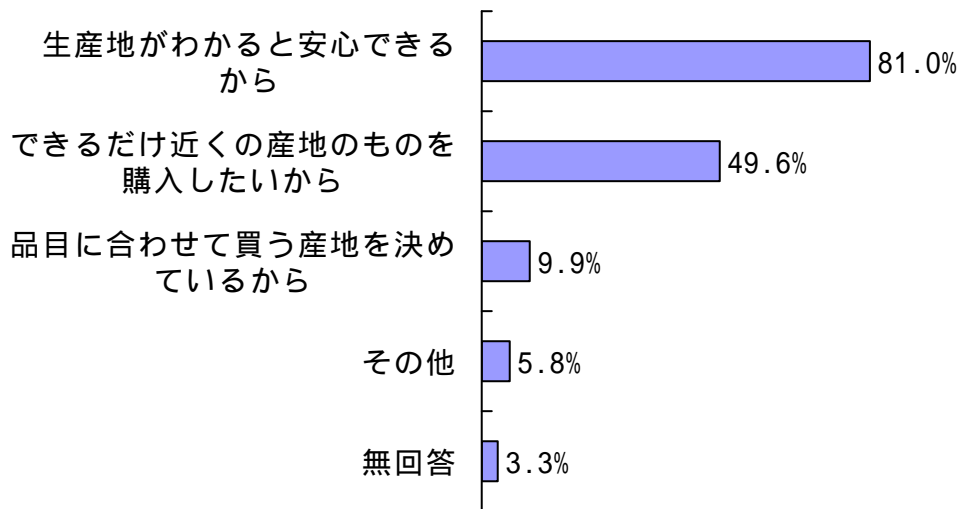
\* 平均スコアとはスコアを回答者数で割ったもの。小数点以下4位を四捨五入。

（年齢別、地区別などの比較は、それぞれ回答者数が異なり、スコアだけでは判断できないため）



<問3で「3 産地」を選んだ方にお尋ねします。>

副問1 「産地」を選んだ理由は何ですか。選択肢の中からいくつでも選んでください。

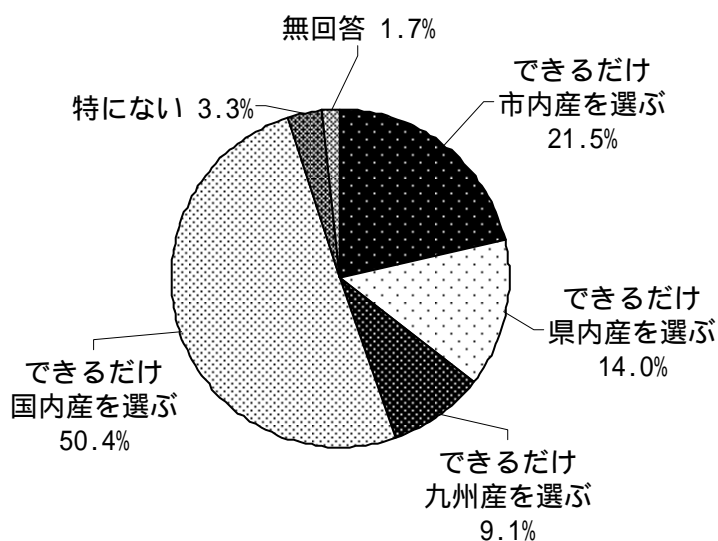


		回答者数	生産地がわかると安心できるから	できるだけ近くの産地のものを買いたいから	品目に合わせて買う産地を決めているから	その他	無回答
全体		121人	81.0%	49.6%	9.9%	5.8%	3.3%
性別	男性	39人	76.9%	48.7%	17.9%	5.1%	2.6%
	女性	82人	82.9%	50.0%	6.1%	6.1%	3.7%
年齢別	20歳代	14人	85.7%	35.7%	0.0%	7.1%	0.0%
	30歳代	25人	84.0%	44.0%	4.0%	8.0%	4.0%
	40歳代	23人	73.9%	39.1%	0.0%	8.7%	0.0%
	50歳代	24人	83.3%	58.3%	8.3%	0.0%	4.2%
	60歳代	22人	86.4%	45.5%	27.3%	4.5%	4.5%
	70歳以上	13人	69.2%	84.6%	23.1%	7.7%	7.7%
区別	門司区	14人	42.9%	64.3%	7.1%	14.3%	7.1%
	小倉北区	19人	84.2%	52.6%	10.5%	5.3%	5.3%
	小倉南区	28人	92.9%	57.1%	14.3%	7.1%	0.0%
	若松区	10人	70.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	81.8%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%
	八幡西区	28人	82.1%	35.7%	3.6%	3.6%	7.1%
	戸畑区	11人	100.0%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%

「生産地がわかると安心できる」が圧倒的に多く、ついで「出来るだけ近くの産地のもの」となった。

<問3で「3 産地」を選んだ方にお尋ねします。>

副問2 「産地」を選ぶ時の範囲の基準があれば、選択肢の中から一つ選んでお答え下さい。

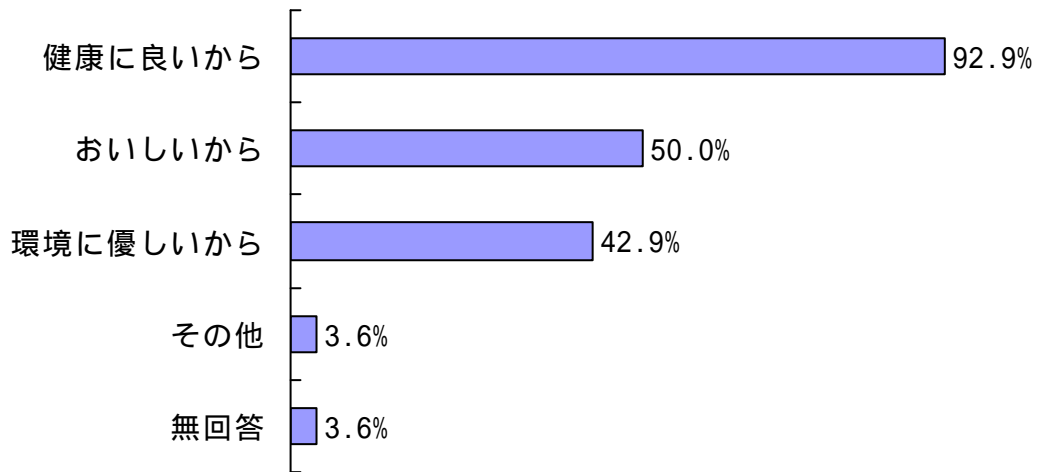


		回答者数	できるだけ市内産を選ぶ	できるだけ県内産を選ぶ	できるだけ九州産を選ぶ	できるだけ国内産を選ぶ	特にない	無回答
全体		121人	21.5%	14.0%	9.1%	50.4%	3.3%	1.7%
性別	男性	39人	28.2%	20.5%	5.1%	38.5%	7.7%	0.0%
	女性	82人	18.3%	11.0%	11.0%	56.1%	1.2%	2.4%
年齢別	20歳代	14人	14.3%	7.1%	7.1%	71.4%	0.0%	0.0%
	30歳代	25人	16.0%	4.0%	16.0%	60.0%	0.0%	4.0%
	40歳代	23人	21.7%	8.7%	17.4%	52.2%	0.0%	0.0%
	50歳代	24人	25.0%	8.3%	4.2%	50.0%	12.5%	0.0%
	60歳代	22人	13.6%	27.3%	4.5%	45.5%	4.5%	4.5%
	70歳以上	13人	46.2%	38.5%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%
区別	門司区	14人	21.4%	14.3%	21.4%	42.9%	0.0%	0.0%
	小倉北区	19人	21.1%	10.5%	21.1%	42.1%	5.3%	0.0%
	小倉南区	28人	21.4%	17.9%	7.1%	50.0%	3.6%	0.0%
	若松区	10人	50.0%	10.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%
	八幡東区	11人	18.2%	27.3%	0.0%	45.5%	9.1%	0.0%
	八幡西区	28人	17.9%	14.3%	7.1%	53.6%	0.0%	7.1%
	戸畑区	11人	9.1%	0.0%	0.0%	90.9%	0.0%	0.0%

「国内産」は50.4%と高く、この傾向は昨年と同様であった。  
戸畑区では国内産が90.9%と圧倒的に高かった。

<問3で「4 有機農産物」を選んだ方にお尋ねします。>

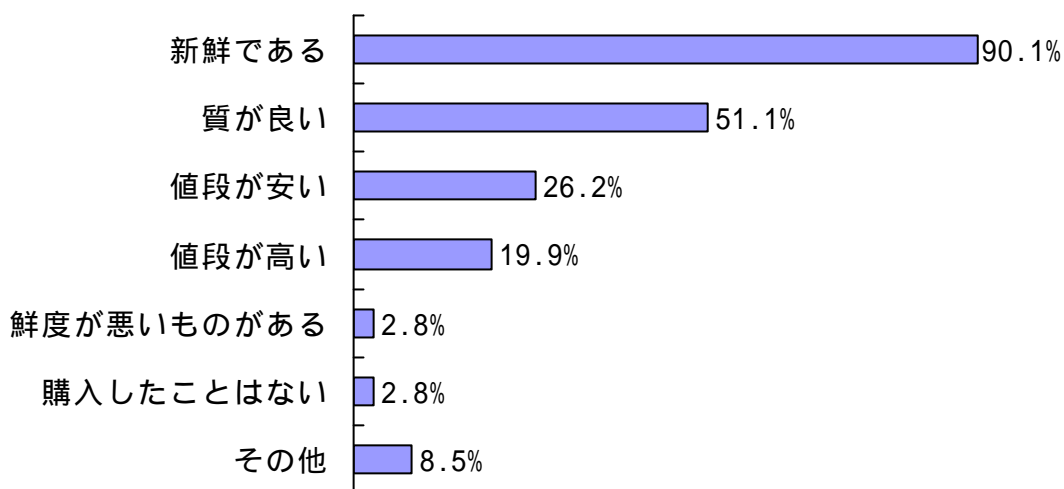
副問3 「有機農産物」を選んだ理由は何ですか。選択肢の中からいくつでも選んで下さい。



		回答者数	健康に良いから	おいしいから	環境に優しいから	その他	無回答
全体		28人	92.9%	50.0%	42.9%	3.6%	3.6%
性別	男性	10人	90.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	女性	18人	94.4%	55.6%	33.3%	5.6%	5.6%
年齢別	20歳代	3人	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	8人	87.5%	50.0%	37.5%	12.5%	12.5%
	40歳代	4人	125.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	4人	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	6人	66.7%	50.0%	83.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	3人	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%
区別	門司区	3人	133.3%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%
	小倉北区	8人	100.0%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	小倉南区	5人	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	若松区	4人	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	八幡東区	2人	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	5人	100.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	1人	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問3で「有機農産物」を選択した方への副問で、有機農産物を選ぶ動機としては、9割以上の回答者が「健康に良いから」を選択した。

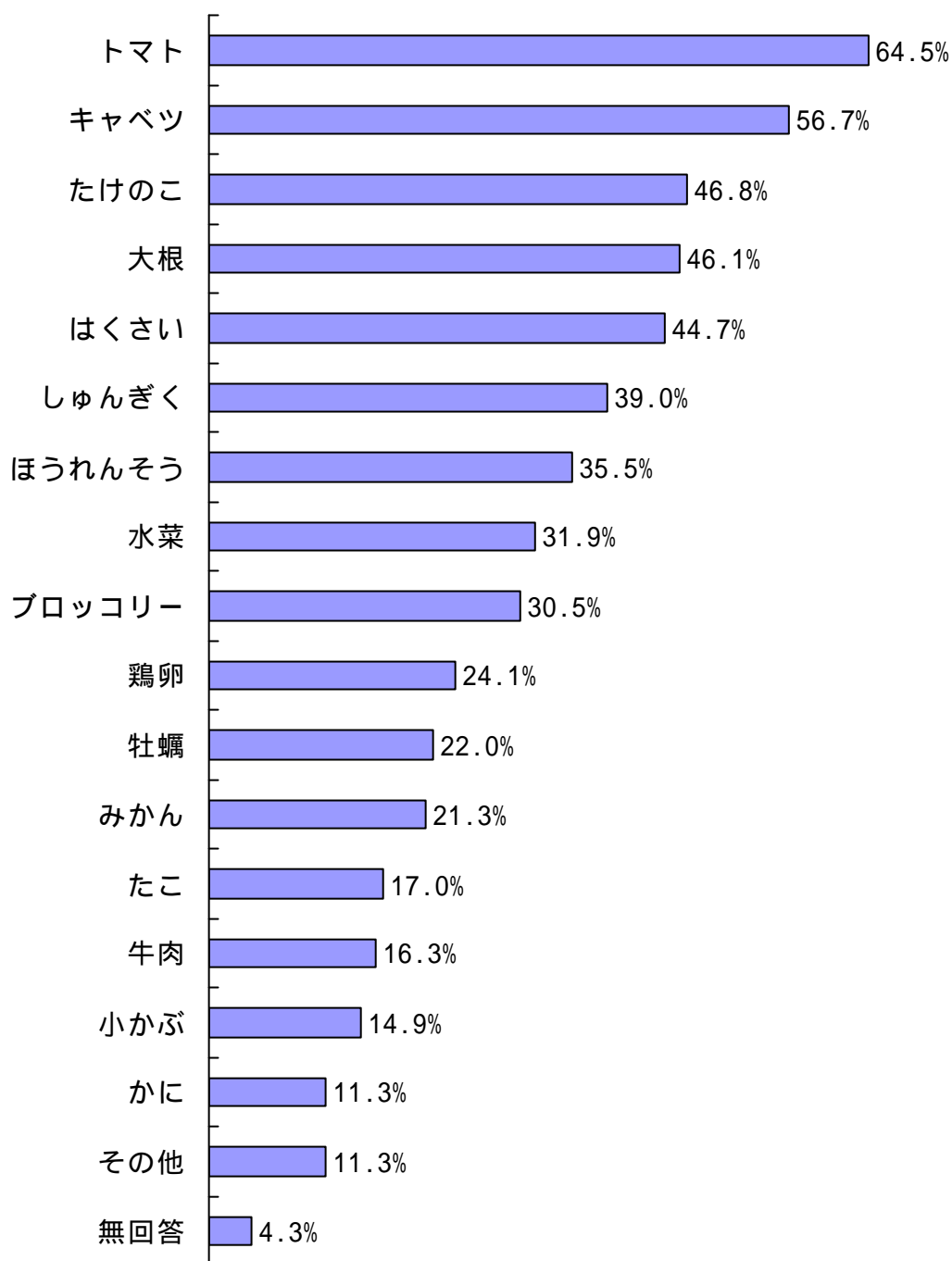
問4 市内産の農林水産物の購入についてお聞きします。市内産農林水産物についてどのような感想をお持ちですか。選択肢の中からいくつでも選んで下さい。



		回答者数	新鮮である	質が良い	値段が安い	値段が高い	鮮度が悪いものがある	購入したことはない	その他
全体		141人	90.1%	51.1%	26.2%	19.9%	2.8%	2.8%	8.5%
性別	男性	47人	91.5%	57.4%	17.0%	21.3%	2.1%	4.3%	8.5%
	女性	94人	89.4%	47.9%	30.9%	19.1%	3.2%	2.1%	8.5%
年齢別	20歳代	18人	77.8%	38.9%	22.2%	16.7%	0.0%	5.6%	5.6%
	30歳代	30人	86.7%	40.0%	20.0%	13.3%	6.7%	3.3%	10.0%
	40歳代	26人	88.5%	57.7%	19.2%	15.4%	3.8%	0.0%	7.7%
	50歳代	26人	92.3%	34.6%	23.1%	26.9%	0.0%	7.7%	0.0%
	60歳代	26人	96.2%	65.4%	34.6%	26.9%	3.8%	0.0%	15.4%
	70歳以上	15人	100.0%	80.0%	46.7%	20.0%	0.0%	0.0%	13.3%
区別	門司区	16人	81.3%	37.5%	12.5%	31.3%	0.0%	6.3%	18.8%
	小倉北区	25人	96.0%	48.0%	16.0%	12.0%	4.0%	0.0%	4.0%
	小倉南区	30人	96.7%	53.3%	50.0%	20.0%	0.0%	3.3%	10.0%
	若松区	11人	81.8%	72.7%	36.4%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	13人	92.3%	76.9%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%
	八幡西区	32人	87.5%	50.0%	18.8%	9.4%	0.0%	3.1%	12.5%
	戸畑区	14人	85.7%	28.6%	21.4%	42.9%	21.4%	7.1%	0.0%

「新鮮である」と「質が良い」が主な感想となり、昨年度の調査と同様の傾向となった。  
「値段」に関する感想は昨年と同様、拮抗した結果であった。

問5 農林水産物を購入するとき、市内産のものが店頭にあれば市内産の方を必ず購入するものがありますか。選択肢の中からいくつでも選んで下さい。



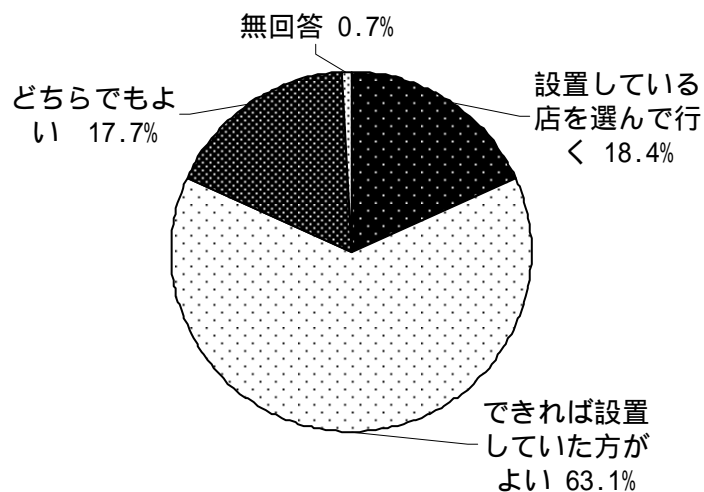
市内産を選ぶ農林水産物に関する設問では「トマト」が1位であった。  
トマトは70歳以上では93.3%の非常に高い評価となった。

問5クロス集計表

		回答者数	トマト	キャベツ	たけのこ	大根	はくさい	しゅんぎく	ほうれんそう	水菜	ブロッコリー
全体		141人	64.5%	56.7%	46.8%	46.1%	44.7%	39.0%	35.5%	31.9%	30.5%
性別	男性	47人	63.8%	57.4%	57.4%	46.8%	55.3%	34.0%	40.4%	29.8%	29.8%
	女性	94人	64.9%	56.4%	41.5%	45.7%	39.4%	41.5%	33.0%	33.0%	30.9%
年齢別	20歳代	18人	44.4%	27.8%	33.3%	22.2%	11.1%	5.6%	11.1%	5.6%	16.7%
	30歳代	30人	40.0%	50.0%	36.7%	30.0%	40.0%	23.3%	26.7%	20.0%	23.3%
	40歳代	26人	73.1%	69.2%	46.2%	46.2%	38.5%	38.5%	38.5%	30.8%	26.9%
	50歳代	26人	73.1%	61.5%	42.3%	50.0%	42.3%	46.2%	30.8%	38.5%	34.6%
	60歳代	26人	73.1%	53.8%	57.7%	61.5%	57.7%	53.8%	42.3%	38.5%	34.6%
	70歳以上	15人	93.3%	80.0%	73.3%	73.3%	86.7%	73.3%	73.3%	66.7%	53.3%
区別	門司区	16人	68.8%	50.0%	56.3%	37.5%	37.5%	50.0%	43.8%	25.0%	18.8%
	小倉北区	25人	56.0%	48.0%	40.0%	48.0%	32.0%	36.0%	28.0%	36.0%	20.0%
	小倉南区	30人	53.3%	50.0%	56.7%	50.0%	46.7%	36.7%	33.3%	33.3%	33.3%
	若松区	11人	81.8%	81.8%	27.3%	36.4%	54.5%	27.3%	27.3%	18.2%	63.6%
	八幡東区	13人	84.6%	69.2%	46.2%	53.8%	53.8%	38.5%	53.8%	53.8%	53.8%
	八幡西区	32人	62.5%	65.6%	46.9%	46.9%	53.1%	43.8%	37.5%	21.9%	21.9%
	戸畑区	14人	71.4%	42.9%	42.9%	42.9%	35.7%	35.7%	28.6%	42.9%	28.6%

		回答者数	鶏卵	牡蠣	みかん	たこ	牛肉	小かぶ	かに	その他	無回答
全体		141人	24.1%	22.0%	21.3%	17.0%	16.3%	14.9%	11.3%	11.3%	4.3%
性別	男性	47人	25.5%	25.5%	23.4%	21.3%	19.1%	17.0%	19.1%	10.6%	4.3%
	女性	94人	23.4%	20.2%	20.2%	14.9%	14.9%	13.8%	7.4%	11.7%	4.3%
年齢別	20歳代	18人	11.1%	11.1%	5.6%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	27.8%	5.6%
	30歳代	30人	13.3%	20.0%	13.3%	10.0%	16.7%	10.0%	6.7%	13.3%	3.3%
	40歳代	26人	11.5%	23.1%	26.9%	19.2%	11.5%	15.4%	7.7%	11.5%	3.8%
	50歳代	26人	38.5%	11.5%	15.4%	11.5%	15.4%	7.7%	3.8%	7.7%	3.8%
	60歳代	26人	26.9%	34.6%	30.8%	30.8%	19.2%	15.4%	26.9%	7.7%	3.8%
	70歳以上	15人	53.3%	33.3%	40.0%	33.3%	26.7%	53.3%	13.3%	0.0%	6.7%
区別	門司区	16人	18.8%	31.3%	18.8%	25.0%	18.8%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%
	小倉北区	25人	24.0%	20.0%	24.0%	20.0%	24.0%	12.0%	4.0%	8.0%	8.0%
	小倉南区	30人	33.3%	30.0%	23.3%	20.0%	20.0%	13.3%	26.7%	10.0%	10.0%
	若松区	11人	18.2%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
	八幡東区	13人	30.8%	30.8%	23.1%	38.5%	30.8%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%
	八幡西区	32人	21.9%	15.6%	12.5%	9.4%	9.4%	15.6%	3.1%	12.5%	0.0%
	戸畑区	14人	14.3%	14.3%	28.6%	7.1%	7.1%	21.4%	14.3%	28.6%	0.0%

問6 最近、市内産や特定地域の農林水産物の販売コーナーを設けた販売店が増えています。このような販売コーナーの設置の有無は、店舗選びに関係していますか。選択肢の中から一つだけ選んでください。

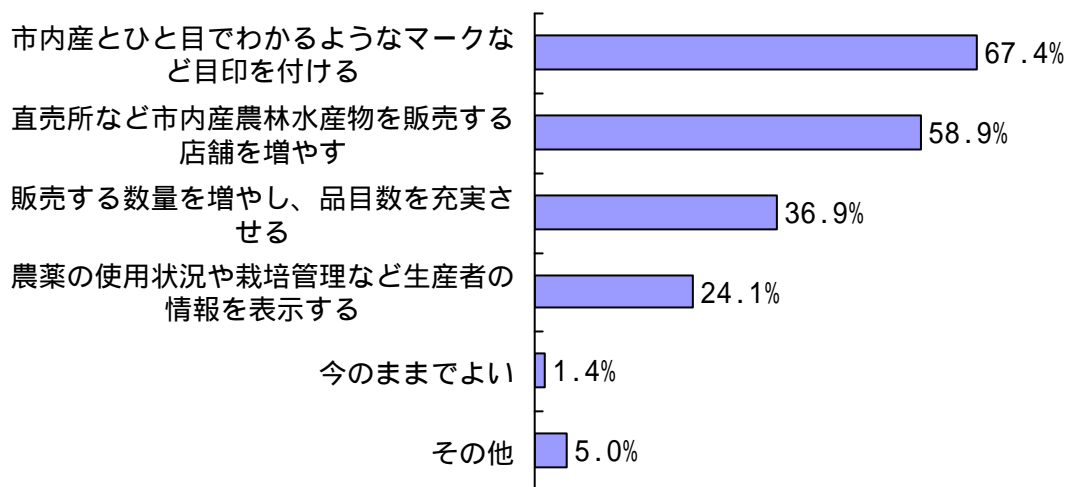


		回答者数	設置している店を選んで行く	できれば設置していた方がよい	どちらでもよい	無回答
全体		141人	18.4%	63.1%	17.7%	0.7%
性別	男性	47人	12.8%	68.1%	19.1%	0.0%
	女性	94人	21.3%	60.6%	17.0%	1.1%
年齢別	20歳代	18人	11.1%	61.1%	27.8%	0.0%
	30歳代	30人	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
	40歳代	26人	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%
	50歳代	26人	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%
	60歳代	26人	30.8%	57.7%	11.5%	0.0%
	70歳以上	15人	33.3%	46.7%	13.3%	6.7%
区別	門司区	16人	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	小倉北区	25人	8.0%	76.0%	16.0%	0.0%
	小倉南区	30人	23.3%	66.7%	10.0%	0.0%
	若松区	11人	27.3%	45.5%	18.2%	9.1%
	八幡東区	13人	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	21.9%	53.1%	25.0%	0.0%
	戸畑区	14人	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%

昨年度の結果と比較すると、「設置している店を選んで行く」は 12.4% 18.4%に増加した。

反面、「できれば設置していた方がよい」は 70.5% 63.1%に低下した。

問7 北九州市では積極的に市内産農林水産物の販売を推進したいと考えています。どうすれば市内産農林水産物が購入しやすくなると思われますか。もっとも効果的だと思われるものを選択肢の中から2つまで選んで下さい。

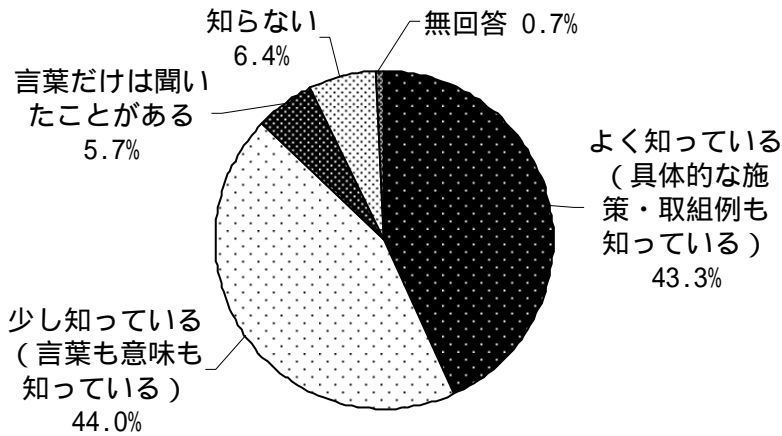


		回答者数	市内産とひと目でわかるようなマークなど目印を付ける	直売所など市内産農林水産物を販売する店舗を増やす	販売する数量を増やし、品目数を充実させる	農薬の使用状況や栽培管理など生産者の情報を表示する	今のままでよい	その他
全体		141人	67.4%	58.9%	36.9%	24.1%	1.4%	5.0%
性別	男性	47人	68.1%	61.7%	31.9%	25.5%	2.1%	6.4%
	女性	94人	67.0%	57.4%	39.4%	23.4%	1.1%	4.3%
年齢別	20歳代	18人	66.7%	61.1%	27.8%	16.7%	0.0%	16.7%
	30歳代	30人	56.7%	53.3%	53.3%	23.3%	3.3%	3.3%
	40歳代	26人	53.8%	65.4%	34.6%	15.4%	3.8%	11.5%
	50歳代	26人	69.2%	61.5%	38.5%	26.9%	0.0%	0.0%
	60歳代	26人	88.5%	46.2%	26.9%	38.5%	0.0%	0.0%
	70歳以上	15人	73.3%	73.3%	33.3%	20.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	16人	62.5%	50.0%	37.5%	31.3%	0.0%	12.5%
	小倉北区	25人	72.0%	52.0%	32.0%	24.0%	4.0%	8.0%
	小倉南区	30人	76.7%	60.0%	43.3%	16.7%	0.0%	3.3%
	若松区	11人	36.4%	63.6%	36.4%	27.3%	0.0%	9.1%
	八幡東区	13人	46.2%	69.2%	38.5%	46.2%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	78.1%	56.3%	31.3%	21.9%	3.1%	3.1%
	戸畑区	14人	64.3%	71.4%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%

昨年度の結果と比較すると、「マーク・目印」(52.7% 67.4%)と「直売所・店舗」(54.3% 58.9%)は増加した。その他の要素ではいずれも減少した。



問8 「地産地消」という言葉をご存じですか。

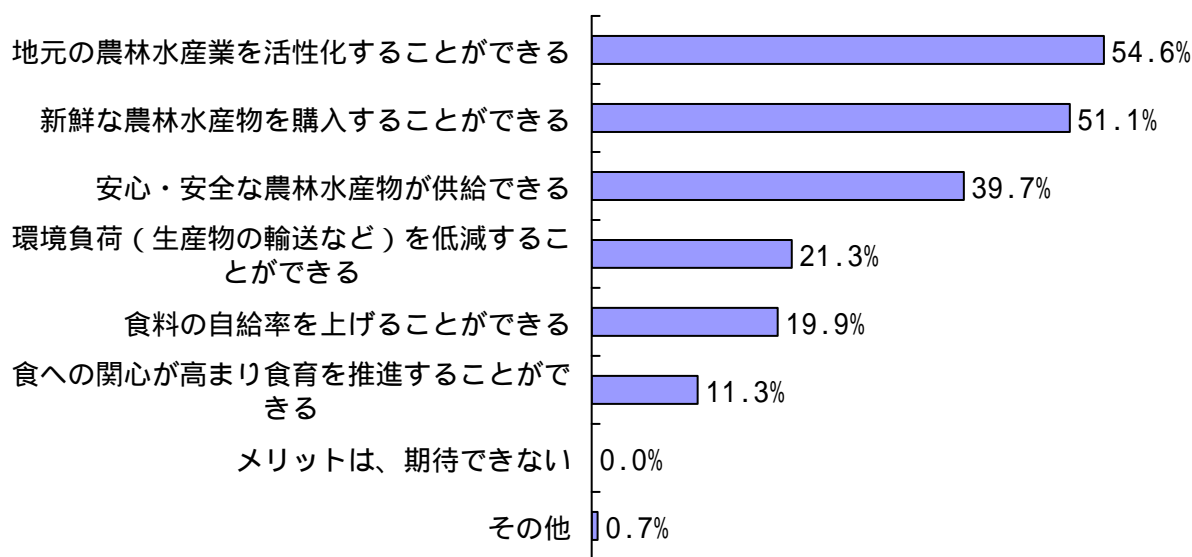


～地産地消とは～  
 「地産地消」とは地元で生産されたものを地元で消費するという意味です。地元の新鮮で、安心・安全な食材を提供し、生産者と消費者のコミュニケーション、農林水産業や食に対する理解を深めようというものです。  
 本市でも様々な施策を展開しています。

		回答者数	よく知っている (具体的な施策・取組例も知っている)	少し知っている (言葉も意味も知っている)	言葉だけは聞いたことがある	知らない	無回答
全体		141人	43.3%	44.0%	5.7%	6.4%	0.7%
性別	男性	47人	48.9%	40.4%	2.1%	8.5%	0.0%
	女性	94人	40.4%	45.7%	7.4%	5.3%	1.1%
年齢別	20歳代	18人	27.8%	55.6%	5.6%	11.1%	0.0%
	30歳代	30人	40.0%	40.0%	10.0%	6.7%	3.3%
	40歳代	26人	34.6%	57.7%	7.7%	0.0%	0.0%
	50歳代	26人	53.8%	38.5%	3.8%	3.8%	0.0%
	60歳代	26人	50.0%	38.5%	3.8%	7.7%	0.0%
	70歳以上	15人	53.3%	33.3%	0.0%	13.3%	0.0%
区別	門司区	16人	43.8%	37.5%	12.5%	6.3%	0.0%
	小倉北区	25人	32.0%	52.0%	4.0%	8.0%	4.0%
	小倉南区	30人	46.7%	46.7%	3.3%	3.3%	0.0%
	若松区	11人	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	13人	53.8%	30.8%	0.0%	15.4%	0.0%
	八幡西区	32人	50.0%	43.8%	3.1%	3.1%	0.0%
	戸畑区	14人	21.4%	42.9%	21.4%	14.3%	0.0%

昨年度の結果と比較すると「よく知っている」(38.8% → 43.3%)と「少し知っている」(43.4% → 44.0%)は増加した。

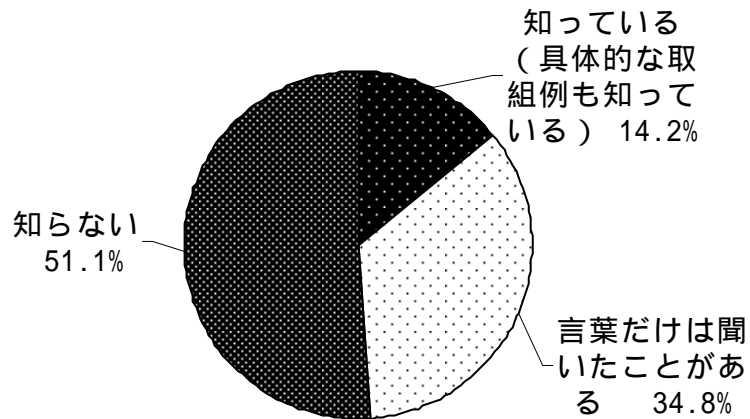
問9 「地産地消」は、消費者、生産者相互にメリットがあると考えていますが、あなたは地産地消の推進によって、どのようなメリットを期待しますか。選択肢の中から2つまで選んで下さい。



		回答者数	地元の農林水産業を活性化することができる	新鮮な農林水産物を購入することができる	安心・安全な農林水産物が供給できる	環境負荷（生産物の輸送など）を低減することができる	食料の自給率を上げることができる	食への関心が高まり食育を推進することができる	メリットは、期待できない	その他
全体		141人	54.6%	51.1%	39.7%	21.3%	19.9%	11.3%	0.0%	0.7%
性別	男性	47人	38.3%	61.7%	40.4%	25.5%	17.0%	10.6%	0.0%	2.1%
	女性	94人	62.8%	45.7%	39.4%	19.1%	21.3%	11.7%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	18人	55.6%	33.3%	33.3%	11.1%	50.0%	11.1%	0.0%	5.6%
	30歳代	30人	43.3%	43.3%	50.0%	26.7%	23.3%	13.3%	0.0%	0.0%
	40歳代	26人	65.4%	53.8%	26.9%	15.4%	19.2%	15.4%	0.0%	0.0%
	50歳代	26人	57.7%	46.2%	42.3%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	26人	73.1%	61.5%	26.9%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%
	70歳以上	15人	20.0%	73.3%	66.7%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%
区別	門司区	16人	50.0%	25.0%	56.3%	18.8%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%
	小倉北区	25人	68.0%	44.0%	36.0%	28.0%	0.0%	24.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30人	60.0%	66.7%	36.7%	23.3%	10.0%	3.3%	0.0%	0.0%
	若松区	11人	45.5%	36.4%	27.3%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%
	八幡東区	13人	15.4%	53.8%	46.2%	23.1%	46.2%	15.4%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	53.1%	59.4%	37.5%	15.6%	18.8%	6.3%	0.0%	3.1%
	戸畑区	14人	71.4%	50.0%	42.9%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

第1位は「地元の農林水産業を活性化することができる」、第2位は「新鮮な農林水産物を購入することができる」、第3位は「安心・安全な農林水産物が供給できる」であった。これら上位3位については昨年度同様の結果であった。

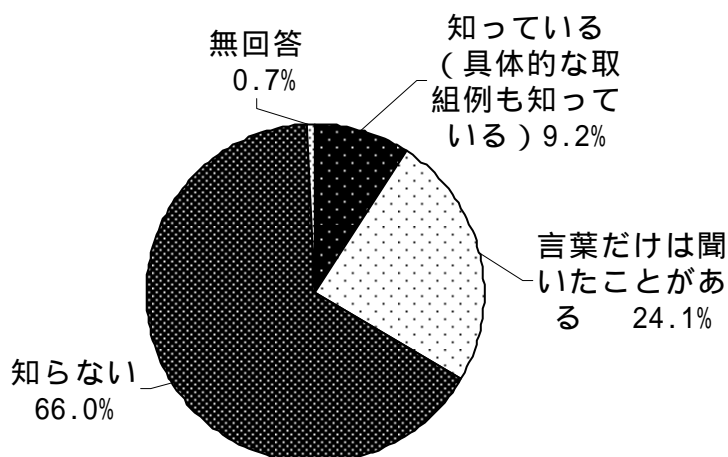
問10 北九州市では「地元いちばん」をキャッチフレーズに地産地消を推進しています。  
あなたは「地元いちばん」という言葉をご存知ですか。



		回答者数	知っている (具体的な取組例も知っている)	言葉だけは聞いたことがある	知らない
全 体		141人	14.2%	34.8%	51.1%
性別	男 性	47人	10.6%	23.4%	66.0%
	女 性	94人	16.0%	40.4%	43.6%
年齢別	20歳代	18人	5.6%	16.7%	77.8%
	30歳代	30人	10.0%	46.7%	43.3%
	40歳代	26人	15.4%	11.5%	73.1%
	50歳代	26人	11.5%	42.3%	46.2%
	60歳代	26人	19.2%	50.0%	30.8%
	70歳以上	15人	26.7%	33.3%	40.0%
区別	門司区	16人	12.5%	37.5%	50.0%
	小倉北区	25人	8.0%	60.0%	32.0%
	小倉南区	30人	26.7%	23.3%	50.0%
	若松区	11人	0.0%	36.4%	63.6%
	八幡東区	13人	23.1%	23.1%	53.8%
	八幡西区	32人	12.5%	28.1%	59.4%
	戸畑区	14人	7.1%	35.7%	57.1%

昨年度の結果と比較すると「知っている」(5.4%→14.2%)と「言葉だけ」(22.5%→34.8%)は増加し、「知らない」(71.3%→51.1%)は減少した。

問11 生産者や消費者、販売店、飲食店などで地産地消を推進する「サポーター」を募集する事業を展開しています。この「サポーター」制度についてご存じですか。

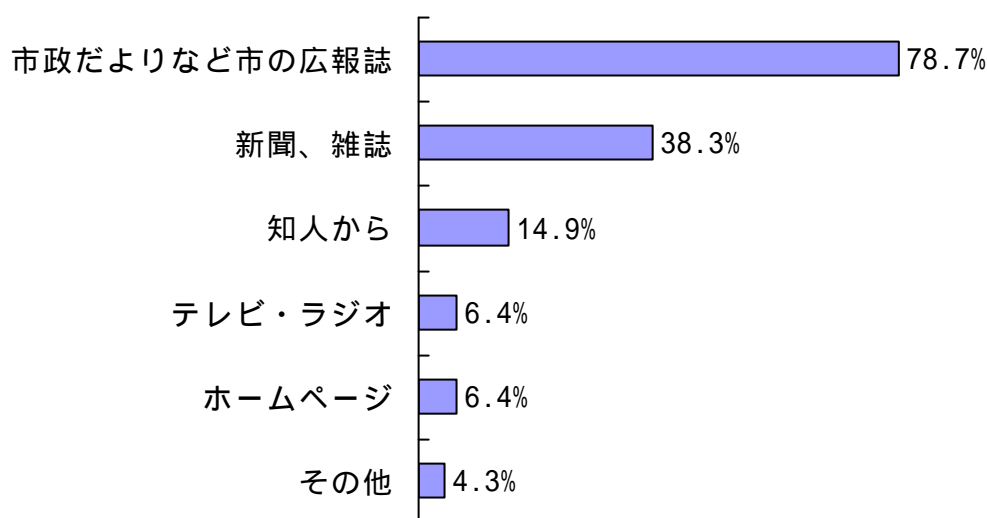


		回答者数	知っている (具体的な取組例も知っている)	言葉だけは聞いたことがある	知らない	無回答
全体		141人	9.2%	24.1%	66.0%	0.7%
性別	男性	47人	2.1%	23.4%	74.5%	0.0%
	女性	94人	12.8%	24.5%	61.7%	1.1%
年齢別	20歳代	18人	11.1%	16.7%	72.2%	0.0%
	30歳代	30人	13.3%	23.3%	63.3%	0.0%
	40歳代	26人	11.5%	11.5%	76.9%	0.0%
	50歳代	26人	11.5%	3.8%	80.8%	3.8%
	60歳代	26人	0.0%	53.8%	46.2%	0.0%
	70歳以上	15人	6.7%	40.0%	53.3%	0.0%
区別	門司区	16人	12.5%	31.3%	56.3%	0.0%
	小倉北区	25人	4.0%	32.0%	64.0%	0.0%
	小倉南区	30人	6.7%	20.0%	73.3%	0.0%
	若松区	11人	18.2%	18.2%	63.6%	0.0%
	八幡東区	13人	7.7%	30.8%	61.5%	0.0%
	八幡西区	32人	9.4%	25.0%	62.5%	3.1%
	戸畑区	14人	14.3%	7.1%	78.6%	0.0%

昨年度の結果と比較すると「知っている」(1.6%→9.2%)と「言葉だけ」(14.7%→24.1%)は増加し、「知らない」(82.9%→66.0%)は減少した。

<問11で「1 知っている」「2 聞いたことがある」を選んだ方にお尋ねします。>

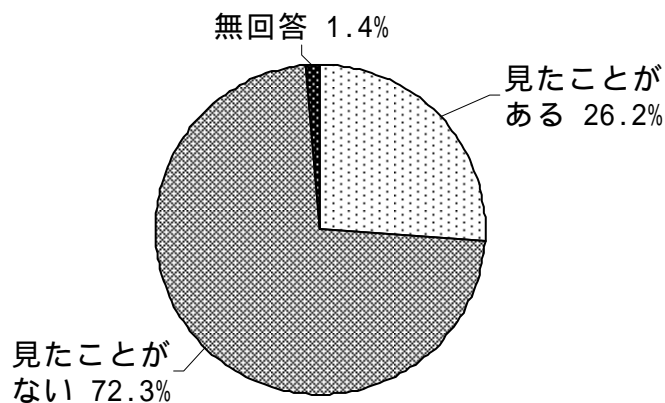
副問1 サポーター制度についてどこで聞きましたか。選択肢の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	市政だより など市の広報誌	新聞、 雑誌	知人から	テレビ・ ラジオ	ホームペー ジ	その他
全体		47人	78.7%	38.3%	14.9%	6.4%	6.4%	4.3%
性別	男性	12人	75.0%	41.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	女性	35人	80.0%	37.1%	11.4%	5.7%	8.6%	5.7%
年齢別	20歳代	5人	60.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	11人	90.9%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%
	40歳代	6人	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	50歳代	4人	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	60歳代	14人	85.7%	42.9%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	7人	57.1%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	7人	85.7%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
	小倉北区	9人	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%
	小倉南区	8人	75.0%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	若松区	4人	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	八幡東区	5人	100.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	11人	72.7%	27.3%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%
	戸畑区	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

昨年度の結果と比較すると最大の要素は「市政だより・市広報誌」で変わりなかった。  
2位の「新聞、雑誌」(19.0% → 38.3%)は昨年と比べ増加、5位の「ホームページ」(23.8% → 6.4%)は減少した。

問12 この事業では、サポーターのお店には「地元いちばん」の幟(のぼり)を立てています。  
この幟を見たことがありますか。



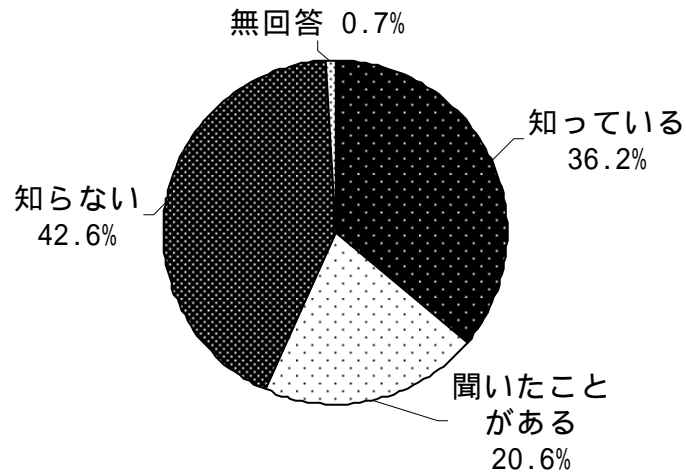
		回答者数	見たことがある	見たことがない	無回答
全体		141人	26.2%	72.3%	1.4%
性別	男性	47人	17.0%	80.9%	2.1%
	女性	94人	30.9%	68.1%	1.1%
年齢別	20歳代	18人	22.2%	77.8%	0.0%
	30歳代	30人	23.3%	73.3%	3.3%
	40歳代	26人	23.1%	76.9%	0.0%
	50歳代	26人	19.2%	80.8%	0.0%
	60歳代	26人	34.6%	65.4%	0.0%
	70歳以上	15人	40.0%	53.3%	6.7%
区別	門司区	16人	18.8%	81.3%	0.0%
	小倉北区	25人	44.0%	56.0%	0.0%
	小倉南区	30人	30.0%	66.7%	3.3%
	若松区	11人	9.1%	90.9%	0.0%
	八幡東区	13人	30.8%	69.2%	0.0%
	八幡西区	32人	18.8%	78.1%	3.1%
	戸畑区	14人	21.4%	78.6%	0.0%

昨年度の結果と比較すると「見たことがある」(7.0%→26.2%)は増加し、「見たことがない」(88.4%→72.3%)は減少した。

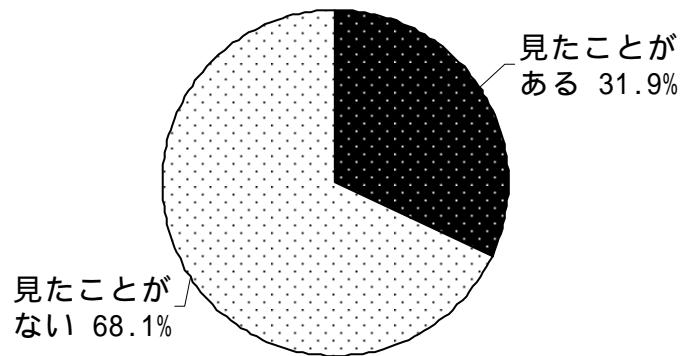
「見たことがある」の回答は全ての区の中で小倉北区が44.0%と最も高くなり、若松区が9.1%と最も低くなった。

問13 本市のブランドである「豊前本ガニ」や「豊前海一粒かき」の産地化を図るため、小倉南区から門司区にかけての主に周防灘沿岸を走る道路を「北九州カニ・カキロード」と名付けて、PRしています。

副問1 あなたは「北九州カニ・カキロード」についてご存じですか。



副問2 「北九州カニ・カキロード」の案内看板を見たことがありますか。



昨年度の結果と比較すると、副問1では「知っている」(22.5% 36.2%)と「聞いたことがある」(19.4% 20.6%)が増加した。

副問2では「見たことがある」(22.5% 31.9%)が増加した。

## 問13クロス集計表

## 副問1「北九州カニ・カキロード」について

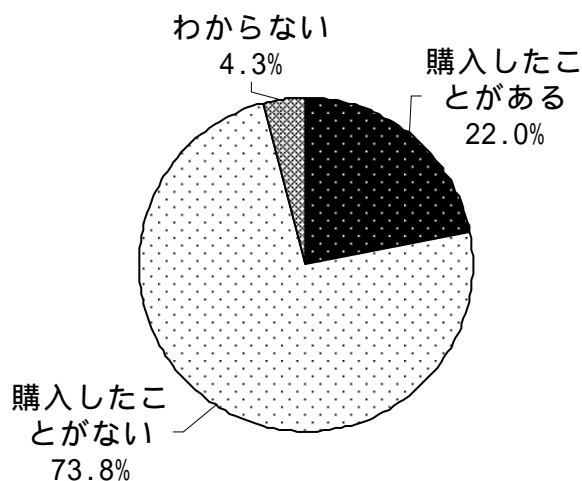
		回答者数	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体		141人	36.2%	20.6%	42.6%	0.7%
性別	男 性	47人	34.0%	10.6%	55.3%	0.0%
	女 性	94人	37.2%	25.5%	36.2%	1.1%
年齢別	20歳代	18人	33.3%	5.6%	61.1%	0.0%
	30歳代	30人	33.3%	23.3%	43.3%	0.0%
	40歳代	26人	42.3%	19.2%	34.6%	3.8%
	50歳代	26人	34.6%	15.4%	50.0%	0.0%
	60歳代	26人	42.3%	23.1%	34.6%	0.0%
	70歳以上	15人	26.7%	40.0%	33.3%	0.0%
区別	門司区	16人	68.8%	6.3%	25.0%	0.0%
	小倉北区	25人	40.0%	24.0%	32.0%	4.0%
	小倉南区	30人	50.0%	20.0%	30.0%	0.0%
	若松区	11人	9.1%	36.4%	54.5%	0.0%
	八幡東区	13人	23.1%	15.4%	61.5%	0.0%
	八幡西区	32人	21.9%	25.0%	53.1%	0.0%
	戸畑区	14人	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%

## 副問2「北九州カニ・カキロード」の案内看板について

		回答者数	見たことがある	見たことがない
全 体		141人	31.9%	68.1%
性別	男 性	47人	31.9%	68.1%
	女 性	94人	31.9%	68.1%
年齢別	20歳代	18人	33.3%	66.7%
	30歳代	30人	30.0%	70.0%
	40歳代	26人	26.9%	73.1%
	50歳代	26人	34.6%	65.4%
	60歳代	26人	42.3%	57.7%
	70歳以上	15人	20.0%	80.0%
区別	門司区	16人	56.3%	43.8%
	小倉北区	25人	40.0%	60.0%
	小倉南区	30人	53.3%	46.7%
	若松区	11人	9.1%	90.9%
	八幡東区	13人	15.4%	84.6%
	八幡西区	32人	18.8%	81.3%
	戸畑区	14人	7.1%	92.9%



問 14 本市のブランドである「豊前本ガニ」とは、ワタリガニ（ガザミ）のことですが、最近1年の間に、ワタリガニ（ガザミ）をご自宅で購入したことはありますか。

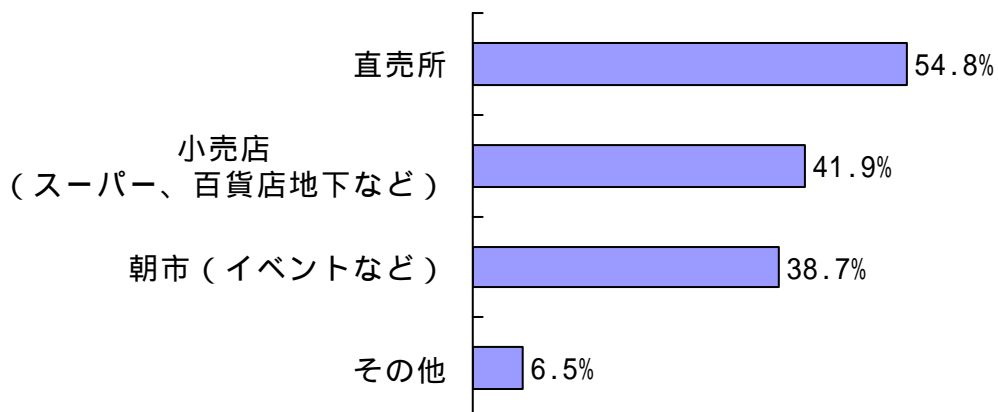


		回答者数	購入したことがある	購入したことがない	わからない
全体		141人	22.0%	73.8%	4.3%
性別	男性	47人	31.9%	59.6%	8.5%
	女性	94人	17.0%	80.9%	2.1%
年齢別	20歳代	18人	0.0%	83.3%	16.7%
	30歳代	30人	13.3%	83.3%	3.3%
	40歳代	26人	19.2%	80.8%	0.0%
	50歳代	26人	23.1%	73.1%	3.8%
	60歳代	26人	38.5%	61.5%	0.0%
	70歳以上	15人	40.0%	53.3%	6.7%
区別	門司区	16人	25.0%	75.0%	0.0%
	小倉北区	25人	16.0%	80.0%	4.0%
	小倉南区	30人	30.0%	60.0%	10.0%
	若松区	11人	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡東区	13人	38.5%	61.5%	0.0%
	八幡西区	32人	18.8%	78.1%	3.1%
	戸畑区	14人	21.4%	71.4%	7.1%

昨年度の結果と比較すると、「購入したことがある」(18.6%→22.0%)、「購入したことがない」(73.6%→73.8%)で大きな差は見られなかった。

<問14で「1 購入したことがある」を選んだ方にお尋ねします。>

副問1 購入した場所を選択肢の中からいくつでも選んでください。



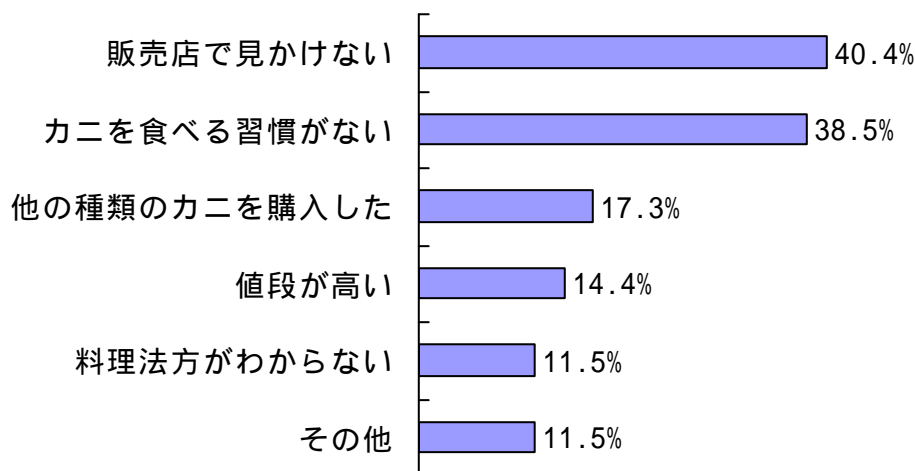
		回答者数	直売所	小売店 (スーパー、百貨店地下など)	朝市 (イベントなど)	その他
全体		31人	54.8%	41.9%	38.7%	6.5%
性別	男性	15人	66.7%	33.3%	40.0%	13.3%
	女性	16人	43.8%	50.0%	37.5%	0.0%
年齢別	20歳代	0人	-	-	-	-
	30歳代	4人	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	40歳代	5人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	6人	50.0%	33.3%	50.0%	0.0%
	60歳代	10人	70.0%	40.0%	40.0%	20.0%
	70歳以上	6人	83.3%	16.7%	50.0%	0.0%
区別	門司区	4人	50.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	小倉北区	4人	25.0%	75.0%	25.0%	25.0%
	小倉南区	9人	66.7%	33.3%	44.4%	0.0%
	若松区	0人	-	-	-	-
	八幡東区	5人	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%
	八幡西区	6人	66.7%	50.0%	16.7%	0.0%
	戸畑区	3人	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%

昨年度の結果と比較すると「直売所」45.8% 54.8%、「朝市」33.3% 38.7%、「小売店」29.2% 41.9%で、いずれも昨年の結果より5~10%程度上昇した。

回答者数も24人 31人と増加した。

<問14で「2 購入したことがない」を選んだ方にお尋ねします。>

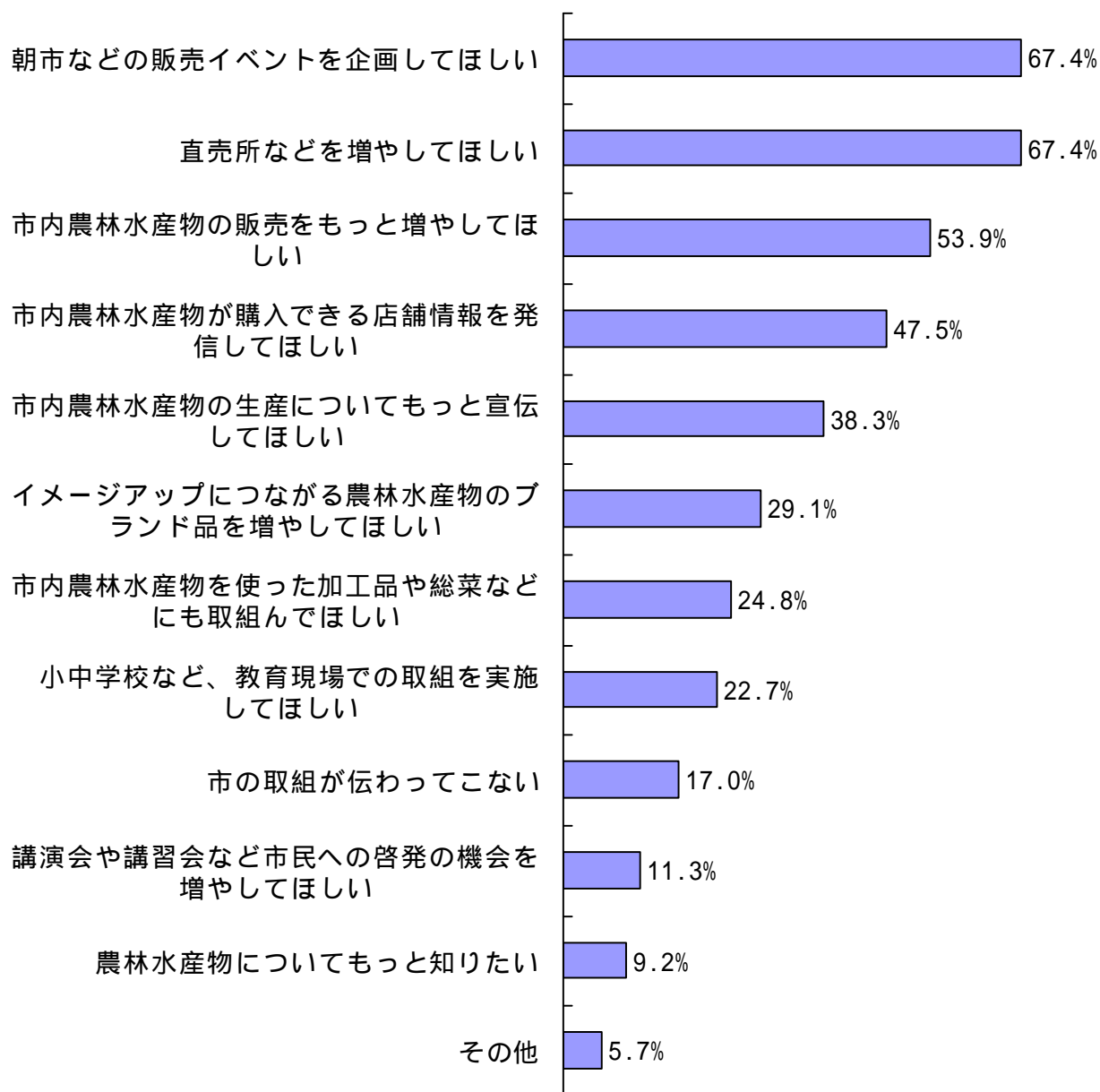
副問2 購入したことがない理由を選択肢の中からいくつかでも選んでください。



		回答者数	販売店で見かけない	カニを食べる習慣がない	他の種類のカニを購入した	値段が高い	料理方法がわからない	その他
全体		104人	40.4%	38.5%	17.3%	14.4%	11.5%	11.5%
性別	男性	28人	50.0%	46.4%	14.3%	14.3%	10.7%	7.1%
	女性	76人	36.8%	35.5%	18.4%	14.5%	11.8%	13.2%
年齢別	20歳代	15人	40.0%	40.0%	6.7%	13.3%	13.3%	13.3%
	30歳代	25人	28.0%	44.0%	8.0%	8.0%	16.0%	8.0%
	40歳代	21人	38.1%	28.6%	28.6%	28.6%	9.5%	14.3%
	50歳代	19人	36.8%	36.8%	21.1%	5.3%	10.5%	10.5%
	60歳代	16人	56.3%	37.5%	25.0%	18.8%	6.3%	6.3%
	70歳以上	8人	62.5%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%
区別	門司区	12人	16.7%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%
	小倉北区	20人	30.0%	45.0%	20.0%	25.0%	15.0%	5.0%
	小倉南区	18人	27.8%	50.0%	11.1%	16.7%	11.1%	22.2%
	若松区	11人	45.5%	36.4%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%
	八幡東区	8人	62.5%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%
	八幡西区	25人	56.0%	40.0%	24.0%	8.0%	8.0%	4.0%
	戸畑区	10人	50.0%	10.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%

昨年度の結果と比較すると「見かけない」36.8% 40.4%、「食べる習慣がない」34.7% 38.5%、「他種購入」10.5% 17.3%、「値段が高い」14.7% 14.4%、「調理方法がわからない」16.8% 11.5%と多少の変動はあるが、大きな差は見られなかった。

問 15 今後の地産地消の推進についてご要望をお聞かせ下さい。選択肢の中からいくつでも選んでください。



上位3位を昨年度の結果と比較すると「イベント」59.7%(2位) 67.4%(同率1位)、「直売所の増加」62.8%(1位) 67.4%(同率1位)、「販売の増加」56.6%(3位) 53.9%(3位)となり、大きな変動はなかった。

問15 クロス集計表

		回答者数	朝市などの販売イベントを企画してほしい	直売所などを増やしてほしい	市内農林水産物の販売をもっと増やしてほしい	市内農林水産物が購入できる店舗情報を発信してほしい	市内農林水産物の生産についてもっと宣伝してほしい	イメージアップにつながる農林水産物のブランド品を増やしてほしい
全体		141人	67.4%	67.4%	53.9%	47.5%	38.3%	29.1%
性別	男性	47人	63.8%	53.2%	48.9%	44.7%	38.3%	25.5%
	女性	94人	69.1%	74.5%	56.4%	48.9%	38.3%	30.9%
年齢別	20歳代	18人	61.1%	55.6%	55.6%	33.3%	44.4%	61.1%
	30歳代	30人	66.7%	60.0%	53.3%	46.7%	23.3%	10.0%
	40歳代	26人	65.4%	76.9%	46.2%	34.6%	26.9%	42.3%
	50歳代	26人	65.4%	84.6%	57.7%	61.5%	38.5%	30.8%
	60歳代	26人	65.4%	65.4%	57.7%	50.0%	50.0%	11.5%
	70歳以上	15人	86.7%	53.3%	53.3%	60.0%	60.0%	33.3%
区別	門司区	16人	75.0%	62.5%	50.0%	62.5%	31.3%	18.8%
	小倉北区	25人	60.0%	68.0%	48.0%	60.0%	40.0%	32.0%
	小倉南区	30人	60.0%	63.3%	56.7%	56.7%	53.3%	30.0%
	若松区	11人	81.8%	63.6%	36.4%	27.3%	45.5%	18.2%
	八幡東区	13人	69.2%	76.9%	84.6%	53.8%	53.8%	23.1%
	八幡西区	32人	75.0%	68.8%	46.9%	34.4%	28.1%	37.5%
	戸畑区	14人	57.1%	71.4%	64.3%	28.6%	14.3%	28.6%

		回答者数	市内農林水産物を使った加工品や総菜などにも取り組んでほしい	小中学校など、教育現場での取組を実施してほしい	市の取組が伝わってこない	講演会や講習会など市民への啓発の機会を増やしてほしい	農林水産物についてもっと知りたい	その他
全体		141人	24.8%	22.7%	17.0%	11.3%	9.2%	5.7%
性別	男性	47人	21.3%	23.4%	21.3%	17.0%	8.5%	10.6%
	女性	94人	26.6%	22.3%	14.9%	8.5%	9.6%	3.2%
年齢別	20歳代	18人	33.3%	33.3%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
	30歳代	30人	23.3%	30.0%	23.3%	10.0%	6.7%	3.3%
	40歳代	26人	42.3%	30.8%	15.4%	11.5%	15.4%	15.4%
	50歳代	26人	11.5%	11.5%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%
	60歳代	26人	23.1%	23.1%	19.2%	19.2%	11.5%	7.7%
	70歳以上	15人	13.3%	0.0%	20.0%	20.0%	6.7%	6.7%
区別	門司区	16人	31.3%	18.8%	18.8%	0.0%	6.3%	12.5%
	小倉北区	25人	32.0%	16.0%	8.0%	12.0%	16.0%	0.0%
	小倉南区	30人	16.7%	33.3%	10.0%	13.3%	3.3%	3.3%
	若松区	11人	18.2%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%
	八幡東区	13人	15.4%	23.1%	30.8%	15.4%	7.7%	15.4%
	八幡西区	32人	25.0%	28.1%	15.6%	15.6%	15.6%	9.4%
	戸畑区	14人	35.7%	0.0%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%

問 16 その他本市の農林水産業についてご意見がありましたらご自由にお書き下さい。

本市の農林水産業について 87 件のご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

その他の内容	性別	年齢区分	居住区
地産地消大賛成。でも近くで販売している場所があまり目につかないように思われます。	男	70	門司区
今でも朝市のイベントなど見かけるが、もっと頻繁にあってもいいと思う。また、より強く市内ブランドのイメージをつけて、県外や市外に市場イベントに出向くのもいいと思う。しかし、ブランドイメージを高めようとしている食材が多い気がする。品数を減らしてアピール力を強くした方がいいのでは。	女	20	門司区
昔から工業都市なので、農林水産を北九州市が軽視しているように思える。98万人の人口を有する都市に農林業は対応できる規模ではないのなら、あまり市が力を入れる必要もないのではと思います。	女	40	門司区
最近ではテレビでよく取り上げられているのを目にします。とてもよい取組みだと思います。若松のトマトはテレビを見て知り、食べたくなりました。「地元いちばん」のポロシャツを着ている市の職員さんを見かけたことがあります。とてもインパクトのあるアピールだと思いました。	女	20	小倉北区
食物は自分の体を作っているものなので、興味・関心はあるのですが、なかなか機会をうまく利用できていないのが現状です。これから、食物や地産地消の取組みは大事になってくると思います。売買だけでなく、どんどん生産者と消費者を直接つなぐような(たとえば、生産者の顔が見える販売方法や農業体験など)取組みを増やしていきましょう。	女	30	小倉北区
駅の近くに販売所があると行きやすいと思います。	女	30	小倉北区
食のブランドなども作ってイメージアップできていると思います。B級グルメのイベントなどを利用して積極的に宣伝してはいかがでしょうか。	女	40	小倉北区
住んでいる地域によって差がありすぎると思います。いつも決まったスーパーでしか買い物できないので、毎日市場にいける人がうらやましいです。	女	50	小倉北区
地産地消をもっと広げて欲しい。体験していきたい。今度カニカキロード探していってきます。	女	20	小倉南区
道の駅のような施設を充実させた方がいいと思います。	女	40	若松区
朝市もいいが、仕事をしている人は買いにいけないので、毎日でなくていいので夕市もやって欲しい。仕事していても、地元の新鮮な野菜など購入したいと思う。	女	40	八幡西区
新鮮で購入したいのですが、同じ市なのに高いのでなかなか購入できないので、他の市には出せない商品などもっと安く提供して欲しいです。	女	40	戸畑区
市内農林水産物をもっと宣伝して欲しい。	男	30	門司区
地産地消、これからの私たちの生活に重要だと思います。市内の農家や漁業が発展する取組みと食の安全を期待しています。	女	40	小倉北区
規格外の品も、どんどん直売所で販売して欲しいです。形は悪くても味は同じ！規格外を喜んで購入する消費者も結構多いと思います。	女	30	小倉南区
二級品、三級品でも学校の給食には使って欲しい。	女	70	八幡西区
市内農林水産物の商品にレシピなどあれば購入しやすいです。	女	20	戸畑区

#### IV 全体考察

今回の市政モニターアンケートは昨年度「第9回市政モニターアンケート 地産地消についての意識調査」としてほぼ同様の質問内容のアンケートを行ったものの継続調査として行ったものである。

購入先に関する設問では、主な買い物先は「スーパー・量販店」との結果になった。また、市内産農林水産物を見かける主な販売場所は「スーパー・量販店」「直売所」が主な結果となった。

続く、農林水産物を買う際の基準に関する設問では、購入動機の1位は「鮮度・質」、続いて2位「価格」、3位「産地」であった。このうち「産地」を基準とする理由に関する設問では、「生産地がわかると安心できる」が圧倒的に多く、ついで「出来るだけ近くの産地のもの」となった。同じく「産地」を選ぶ時の範囲は「国内産」が50.4%で1位であった。続いて「有機農産物」を基準とする理由に関する設問では9割以上の回答者が「健康に良いから」を選択した。また、市内産の農林水産物に対する感想では、市内産農林水産物への感想は「新鮮である」と「質が良い」が主な感想となり、昨年度の調査と同様の傾向となった。よく購入する市内産農林水産物は「トマト」が1位で、トマトは70歳以上では93.3%の非常に高い評価となった。

市内産農林水産物の販売コーナー設置に関する設問では、昨年度の結果と比較すると、「設置している店を選んで行く」は12.4%→18.4%に増加したが、反面、「出できれば設置していた方がよい」は70.5%→63.1%に低下した。

市内産農林水産物の販売促進に効果的だと思う設問では、昨年度の結果と比較した結果、「マーク・目印」(52.7%→67.4%)と「直売所・店舗」(54.3%→58.9%)で増加、その他の要素ではいずれも減少した。

「地産地消」についての認知度では、「よく知っている」(38.8%→43.3%)、「少し知っている」(43.4%→44.0%)で増加した。また、地産地消の推進により期待されることでは、第1位「地元の農林水産物を活性化することができる」、第2位「新鮮な農林水産物を購入することができる」、第3位「安心・安全な農林水産物が供給できる」となった。これら上位3位については昨年度同様の結果となった。

キャッチフレーズ「地元いちばん」の認知度では、「知っている」(5.4%→14.2%)、「言葉だけ」(22.5%→34.8%)は増加し、「知らない」(71.3%→51.1%)は減少する結果となった。地産地消サポーター制度の認知度では、「知っている」(1.6%→9.2%)、「言葉だけ」(14.7%→24.1%)は増加し、「知らない」(82.9%→66.0%)は減少した。サポーター制度を知るきっかけでは「市政だより・市広報誌」が昨年と同じく1位になった。サポーターの店にある「地元いちばん」の幟(のぼり)を見た経験では、「見たことがある」(7.0%→26.2%)が増加し、「見たことがない」(88.4%→72.3%)は減少となった。

「北九州カニ・カキロード」の認知度と「北九州カニ・カキロード」の案内看板を見た経験については、「知っている」(22.5%→36.2%)と「聞いたことがある」(19.4%→20.6%)が増加、また看板でも「見たことがある」(22.5%→31.9%)が増加する結果となった。

「豊前本ガニ」(ワタリガニ・ガザミ)の購入の有無では「購入したことがある」(18.6%→22.0%)、「購入したことがない」(73.6%→73.8%)で昨年と大きな差は見られなかった。購入先に関する設問では「直売所」45.8%→54.8%、「朝市」33.3%→38.7%、「小売店」29.2%→41.9%で、いずれも昨年の結果より5~10%程度上昇した。逆に、購入したことがない理由では「見かけない」36.8%→40.4%、「食べる習慣がない」34.7%→38.5%、「他種購入」10.5%→17.3%、「値段が高い」14.7%→14.4%、「調理方法がわからない」16.8%→11.5%などが上がったが、昨年と大きな差は見られなかった。

今後の地産地消の推進に関する要望では、「イベント」59.7%(2位)→67.4%(同率1位)、「直売所の増加」62.8%(1位)→67.4%(同率1位)、「販売の増加」56.6%(3位)→53.9%(3位)となり、大きな変動はなかった。

#### 【市政モニターに関すること】

総務市民局市民部広聴課(TEL:582-2525)

#### 【アンケートに関すること】

産業経済局地産地消推進課(TEL:582-2080)